

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育情報センター



発達障害教育情報センターでは、発達障害のある子どもの教育の推進・充実に向けて、発達障害にかかわる教員及び保護者をはじめとする関係者への支援を図り、さらに広く国民の理解を得るために、Webサイトによる情報提供や理解啓発などを行うことを目的としています。

<http://icedd.nise.go.jp>

http://icedd.nise.go.jp

新着・更新情報

更新された内容を紹介しています。最新情報を確認するのに便利です。

利用者別入口

利用される方に合わせたコンテンツの並びになっています。

コンテンツのご案内

提供している情報（コンテンツ）は、次の7つに分かれています。詳しい内容は、中折ページをご覧ください。

1. 指導方法や支援について知りたい → 指導・支援
2. 研修講義（教師向け）が見たい → 研修講義
3. 教材教具や支援機器が知りたい → 教材・支援機器
4. 発達障害に関する研究が知りたい → 研究紹介
5. 国の施策・法令等が知りたい → 施策法令
6. 教育相談に関する情報が知りたい → 教育相談
7. イベントや研修会の情報が知りたい → イベント情報

Webサイトに掲載している7つのコンテンツについて紹介します。

1. 指導・支援

「音読が苦手（学習面）」「授業中や座っているべき時に席を離れてしまう（行動面）」「集団の中に入れない（社会性）」など、発達障害のある子どもによく見られる特性について、どういうポイントで捉えたらよいか、どうしてそのような状態が生じているのか、どのように支援・指導すればよいかについて具体的な場面を例に解説しています。

また、国立特別支援教育総合研究所図書室に所蔵されている発達障害関連の図書リスト（データベース）も掲載されています。



2. 研究紹介

発達障害のある子どもの特性や教育に関する研究、図書、調査結果などを紹介しています。特に、研究については、当研究所がこれまで行ってきた発達障害に関する研究について発達段階（例「小学校段階」「中学校段階」など）と、内容（例「子どもの特性、実態把握に関すること」「指導法・支援方法に関すること」「支援体制に関すること」）といった観点から整理されています。一つ一つの研究についてはA4 1枚の「研究紹介シート」で、概要をわかりやすく紹介しています。



3. 教材・支援機器



発達障害のある子どもの教育的支援に活用されている教材教具や支援機器、また、市販されているもので発達障害のある子どもに活用可能なものをデータベース形式で紹介しています。データベースは、各カテゴリ、対象年齢の他に、それぞれの特性や仕様などに含まれるキーワードでも検索ができます。

また、発達障害のある子どもの指導にあたっている学校の先生を対象に行った教材教具や支援機器のモニター調査の結果を事例ごとに紹介しています。



4. 研修講義

発達障害のある子どもの教育に関わる教員を主な対象に、教育的支援に必要な基礎的内容の講義を動画で配信しています。これらの動画は、個人や職場での研修に活用していただけるように10～20分で構成されています。研修講義を活用した校内研修モデル案と実際の研修講義の活用事例について紹介しており、校内研修などの計画にも活用いただけるものとなっています。また、講義の資料をダウンロードすることもできます。

【研修講義の内容(平成26年4月現在)】

- ・ちょっと気になるが出発点
- ・教室の中の気になる子どもたち
- ・注意を集中し続けることが難しい子
- ・音読が苦手な子
- ・書くことが苦手な子
- ・乱暴な言葉や態度を示す子
- ・授業中や座っているべきときに席を離れてしまう子
- ・状況に関係のない発言をする子どもの理解と支援
- ・発達障害のある子どもへの指導・支援体制
- ・高機能自閉症等のある児童の国語科指導
- ・幼児期の発達障害
- ・幼児を養育している保護者とのかかわり
- ・発達障害のある子どもの家族への支援
- ・二次障害の理解と対応
- ・自閉症の医学
- ・ADHDとは何か

5. 施策法令

発達障害者支援法、発達障害に関する法令・通知、文部科学省や厚生労働省の支援事業など、発達障害に関する国の最新の施策や法令、通知、支援事業等についての情報を提供しています。

6. 教育相談

特別支援教育に関するシステムや発達障害のあるお子さんの子育てに関する相談についてQ&A形式で紹介しています。また、各地域の公的な教育相談機関と発達障害者支援センターに関する情報や海外渡航者に向けた日本人学校に関する情報を提供しています。

7. イベント情報

官公庁や発達障害に関する機関及び学会などが主催、共催しているイベントや研修会についての情報を提供しています。

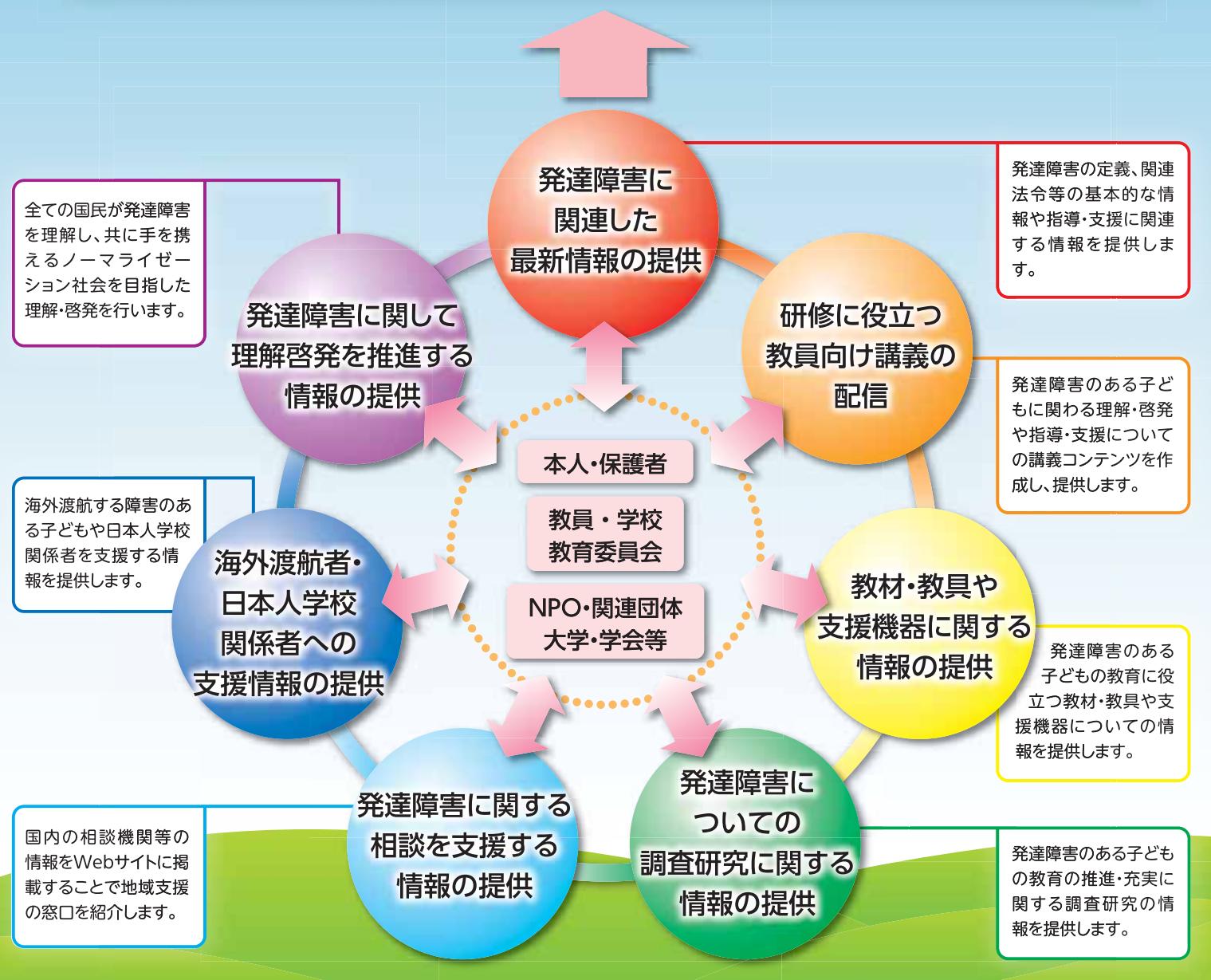
また、世界自閉症啓発デーin横須賀や研究所公開などの発達障害教育情報センターの活動についても紹介しています。



発達障害教育情報センターの役割

平成20年8月開設

発達障害のある人が充実した生活を送ることができ、
障害のある人も障害のない人も共に手を携えて
生きていくことのできる社会の実現



◆これらの事業の実施にあたっては、厚生労働省の発達障害情報・
支援センターと連携しています。

発達障害教育情報センターでは、発達障害のある子どもの教育的支援の推進に向けて情報の充実を図っています。その際に、都道府県などの特別支援教育センターや発達障害情報・支援センターなどの外部の関係諸機関と連携し、一貫性のある総合的な情報が提供できるように努めています。

「研修講義」の活用推進

「研修講義」は、各地の教育センターなどの研修や学校での校内研修会、保護者の学習会などの様々な研修の場で活用していただくことができます。実際に、教育センターや学校の校内研修、大学の講義などすでに活用されています。活用にあたっては、Web サイトの動画やそれを収録した DVD を利用していただけます。写真は、「研修講義」の動画を活用した教育センター、学校における研修の様子です。



関係諸機関との連携

発達障害教育情報センターでは、発達障害のある子どもへの理解や支援に関する情報を充実させていくために、関係諸機関との連携に努めています。具体的には、都道府県などの教育委員会や特別支援教育センターなどが企画、実施している教員や保護者などを対象にした研修会の年度計画を提供いただき、本サイト「イベント情報」で紹介しています。

また、発達障害情報・支援センター（厚生労働省 国立障害者リハビリテーションセンター）との情報共有・情報交換を通して、発達障害のある子どもの教育の推進・充実に努めています。